

効果的なOJTを 実施するための指導法

コース番号：078-024

2026年

開催日時：**10月9日(金)** 募集締切：**9月25日(金)**
9:30~16:30 (6時間)

受講料
3,300円 (税込)

開催場所：ポリテクセンター山梨（裏図参照）

定員：**16名程度**（先着順）

推奨者：中高年齢層 ※このコースは原則として45歳以上の方が対象ですが、それ以外の方も受講できます。

コースの狙い

後輩従業員へのノウハウの継承を目指して、中堅・ベテラン従業員がもつ経験や技能をOJTを通じて後輩従業員に伝達するための知識と技能を習得します。

主な訓練内容

◎ 人材育成のプロセス

(1) 人材育成の基本

現場指導の基本ステップである「知る」「できる」「自発的学習（自走）」について理解し、「知らない」「できない」から教えているという前提を意識してもらう。また、指導においては自身が「手本を示す」「指導方法の課題を持つ」ということの重要性についても学んでいきます。

◎ 効果的なOJTの進め方とポイント

(1) OJTの目的と実施のポイント

OJTの目的である人材の即戦力化について理解し、予定通りに1人前に仕上げていくために意図的・計画的・継続的な実施と、育成担当者ならびに組織内のメンバーに求められる意識と行動について学び、また、教育だけでなく共育の視点についても触れていきます。

(2) 指導は仕事

現場指導は仕事であるという事を再認識し、常に課題意識を持つ事、部下後輩が育たないという事は、指導役の責任であるということ学びながら、その上で、育成という仕事の成果を出していくために、指導スキルを身につけていく事を理解します。

【演習】自身の良い点と課題を整理

現場指導における自身の良い点と課題を整理し、より良い指導につなげていく準備を行う。

(3) OJTトレーナーの役割と必要なスキル

育成担当者の大きな役割は指導・援助の2つであることを理解し、指導に必要なスキルであるティーチングとコーチングについて学びます。また、援助に必要なアサーティブコミュニケーションについて理解を深めていきます。

【演習】受容トーク

指導や援助での言動を相手が前向きに受け止められるトークについて整理し、ポジティブに物事を捉え言動に展開していくスキルを習得します。

◎ 現場で活かせる実践的指導法

(1) 現場における指導の実務

指導には「教示」「教導」「助言」「支援」あることを理解し、それぞれの概要と実務における指導のポイントを学び、また、「説諭」「叱責」についても触れ、好ましい改善指導についても学んでいきます。

(2) 指導の留意点

指導育成の場面で、ついやってしまう好ましくない指導方法、指導中の言動について理解し、どのような指導・言動が良いのか演習を通して理解を深めます。また、ハラスメントについても触れ、過剰な遠慮による指導の萎縮をしないようにハラスメントについて例示しながら解説します。

【演習】指導の改善

好ましくない指導方法・言動を好ましい指導・言動に置き換えていくことを一人一人が考え、好ましくない指導に対する意識を深め、好ましい指導の要点を習得します。

(3) 成長を加速させるポイント

OJTを通して後輩の自走を促していくためのポイントについて学び、実践のポイントを習得していきます。

○ 訓練内容のココがポイント！

現場指導の基本である「知る」「できる」「自発的学習」において、それぞれのステップでどのような関与（指導）が望ましいのかを講義・演習・事例を通して学びます。また、指導とハラスメントの境界についても例示しながら学んでいくとともに、実務ですぐに使える指導のポイントについても習得できるように工夫しています。

お申し込みは

※ 当HP内「令和8年度オープンコース第2弾受講者募集のご案内」の下部に、Excel形式で直接必要事項が入力できる「オープンコース受講申込書」があります。

実施機関&講師

株式会社
M x E コンサルティング
代表取締役
考働力開発アドバイザー
松嶋 清秀氏

講師Profile

精密機械メーカーにて製造・設計・技術開発・営業・事業開発に従事したのち、コンサルタントとして独立。企業実績と従業員の相関に基づく考働力を切り口としたコンサルティング・研修で定評がある。

